

エリア内経済統計

(東濃5市・可児加茂・春日井市)



とうしん美濃陶芸美術館

(2024年)

東濃信用金庫



とうしん地域活力研究所



@TOSHIN_MUSEUM_

－表紙－ とうしん美濃陶芸美術館

東濃信用金庫が昭和61年度から行っている美濃陶芸作品
永年保存事業で購入した作品をはじめ、東濃信用金庫が
所蔵するコレクションなど、現代美濃陶芸の作品を広く
皆さまにご覧いただくことを目的としています。当美術
館の最新情報は、インスタグラムにて発信しています。



©Nami Adachi

Contents

・人口の推移	… 1
・製造業事業所の動向	… 2
・東濃地場産業の推移	… 4
・くらしの数値	… 6
・ＪＲ東海 駅乗車人員	… 7
・観光統計	… 8

※各統計のグラフの数値は、小数点以下第2位または第3位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。

対象エリア

東 濃 5 市：多治見市・土岐市・瑞浪市・恵那市・中津川市

可児・加茂：可児市・美濃加茂市・加茂郡（坂祝町・富加町・川辺町・七宗町・八百津町・白川町・東白川村）・
可児郡御嵩町

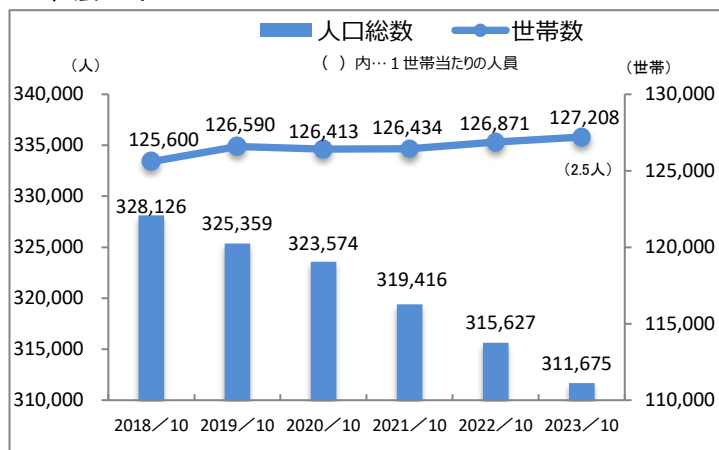
※P2「事業所の構成」は、加茂郡と可児郡の詳細な分類が発表されていないため、可児市と美濃加茂市のデータで算出しています。

春 日 井 市

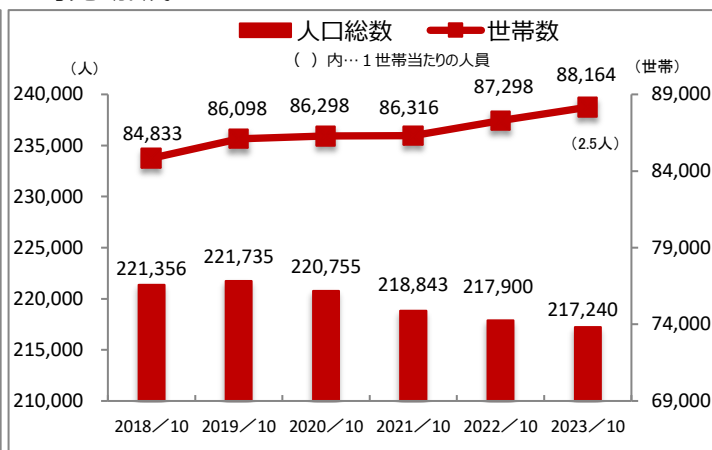
※P9「観光統計(愛知県)」については、名古屋市を除く以下のエリアを対象としています。

春日井市、小牧市、犬山市、江南市、尾張旭市、西春日井郡豊山町

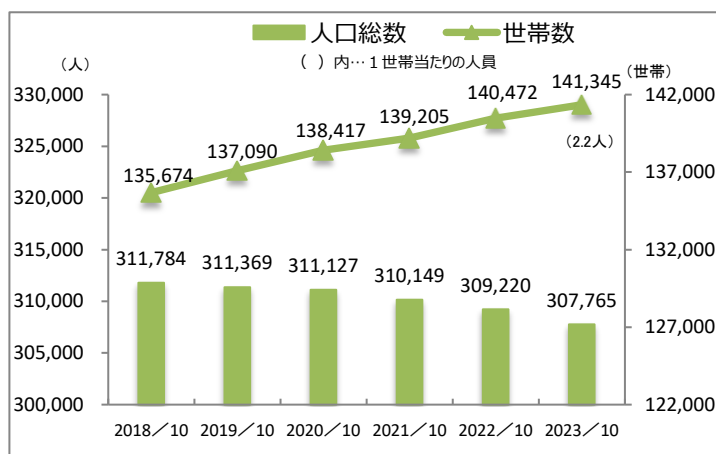
■東濃5市



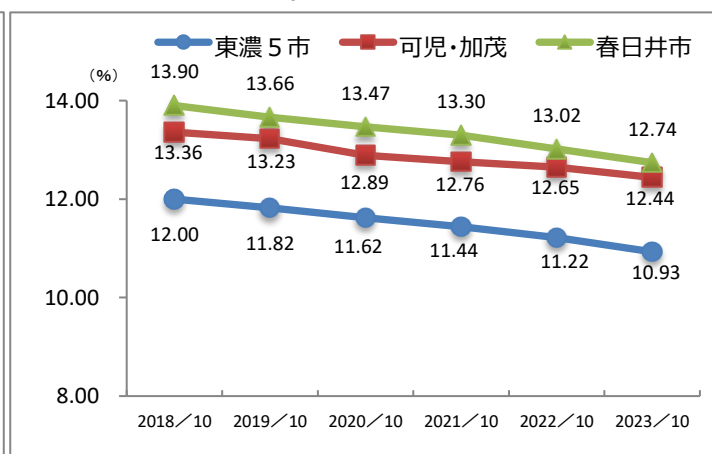
■可児・加茂



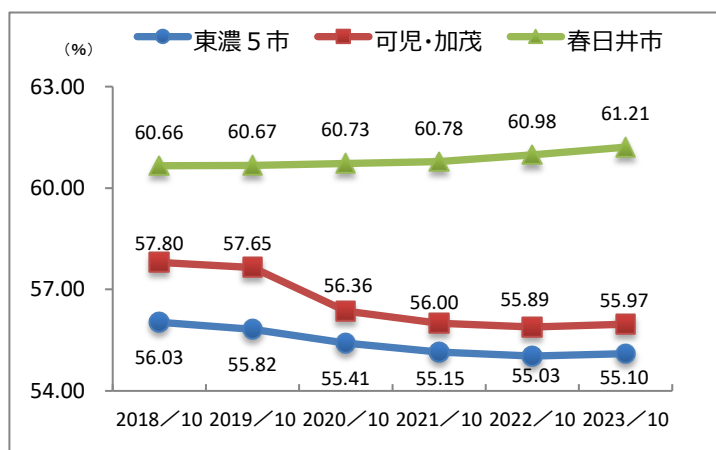
■春日井市



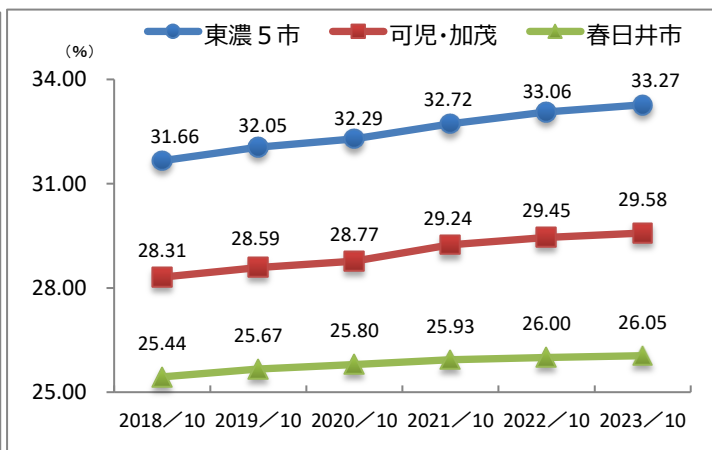
■年少人口（0～14歳）



■生産年齢人口（15～64歳）



■老年人口（65歳以上）



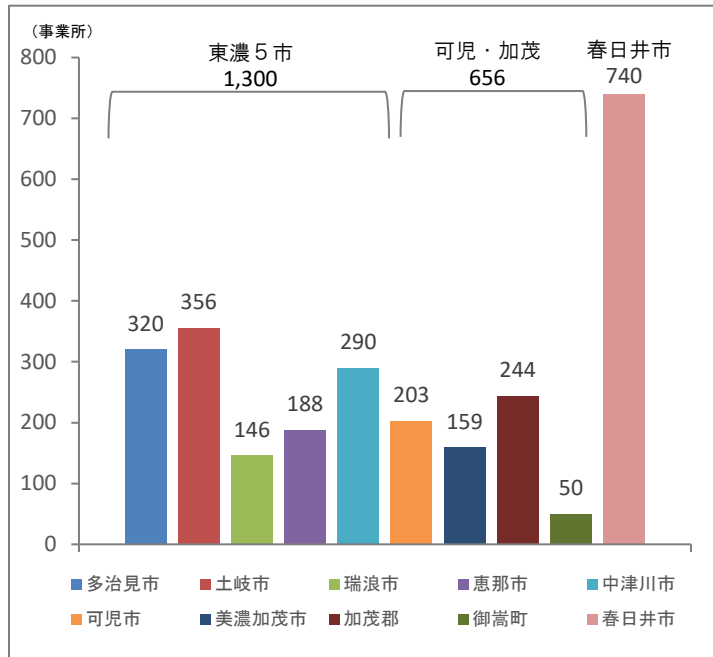
人口総数は全ての地域において減少傾向で推移し、世帯数は全ての地域において増加傾向で推移した。2023年の1世帯当たりの人員は、昨年から大きな変化はなく、「東濃5市」と「可児・加茂」が2.5人、「春日井市」が2.2人であった。

年齢別の人口構成割合は、全ての地域において「年少人口」が低下し、「老年人口」が上昇した。「生産年齢人口」は、前年比で全ての地域においてわずかに上昇した。

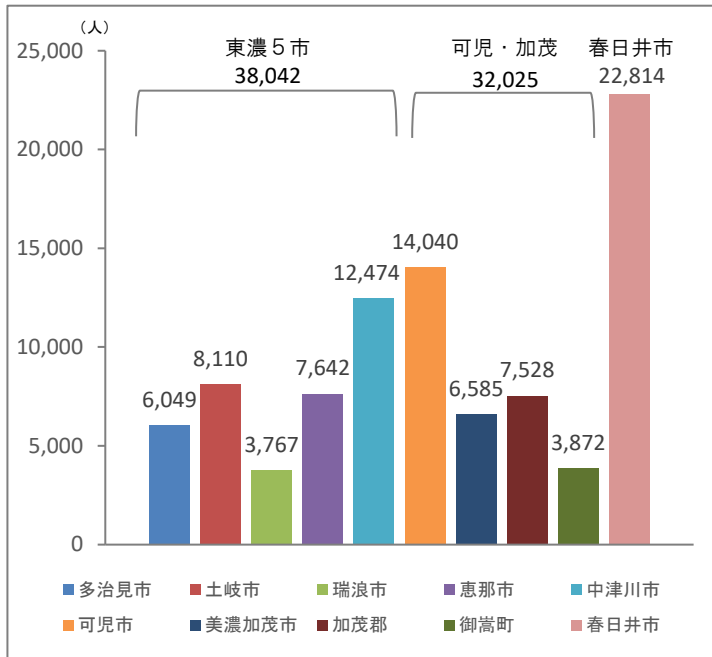
製造業事業所の動向（2021年）

〔資料：経済産業省「経済構造実態調査」〕

■事業所数



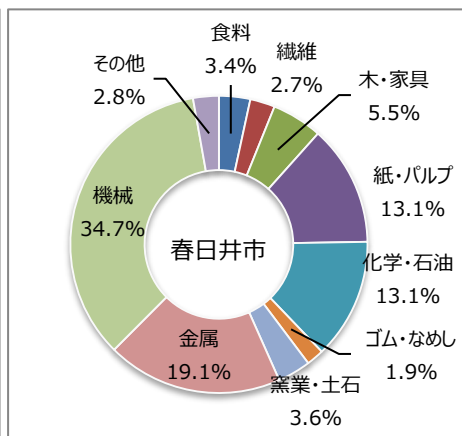
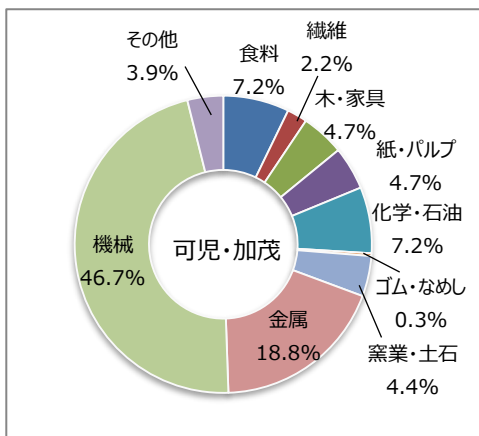
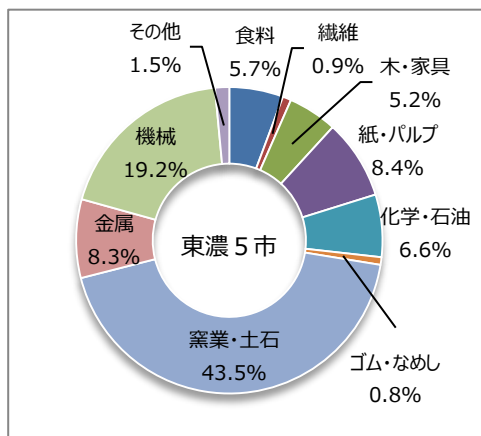
■従業者数



事業所数は「春日井市」（740事業所）が最も多く、次いで「土岐市」（356事業所）、「多治見市」（320事業所）となった。

従業者数は「春日井市」（22,814人）が最も多く、次いで「可児市」（14,040人）、「中津川市」（12,474人）となった。

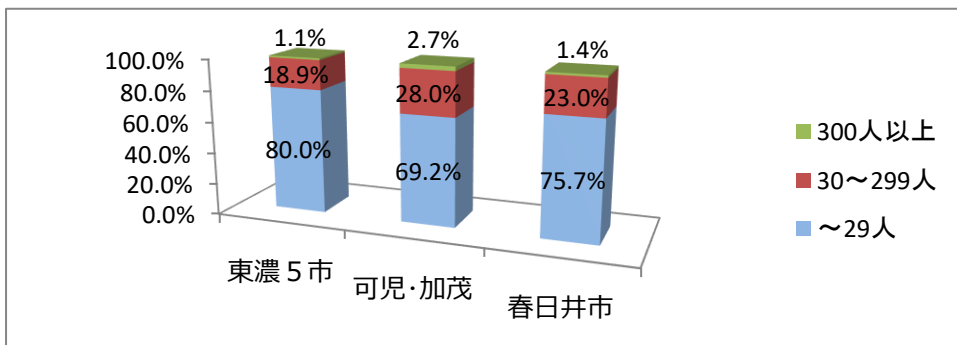
■事業所の構成



事業所の構成は、『東濃5市』において「窯業・土石」（43.5%）が最も高く、次いで「機械」（19.2%）となった。

一方で『可児・加茂』と『春日井市』において「機械」（可児・加茂：46.7%、春日井市：34.7%）がともに最も高く、次いで「金属」（可児・加茂：18.8%、春日井市：19.1%）となった。

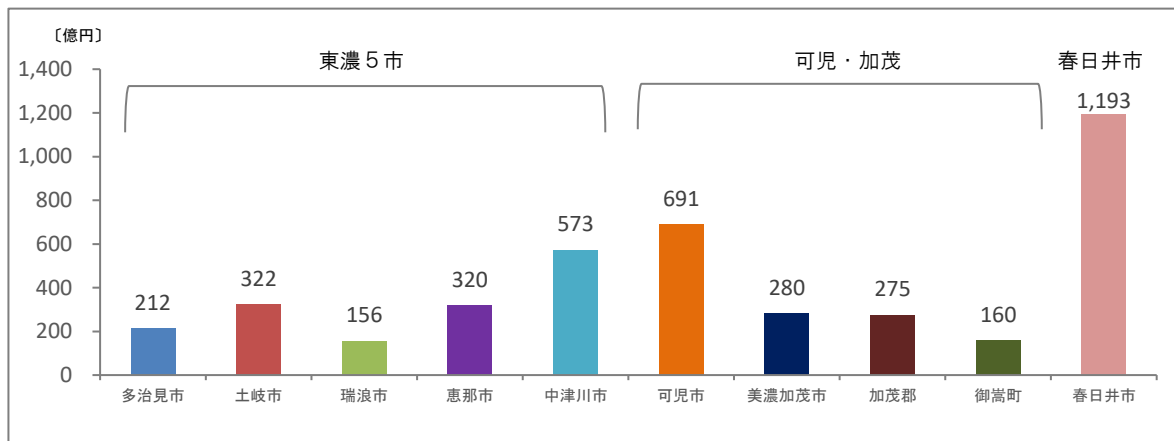
■従業者規模割合



従業者規模割合は、いずれの地域においても「～29人」が最も高く、『東濃5市』（80.0%）、『可児・加茂』（69.2%）、『春日井市』（75.7%）となった。

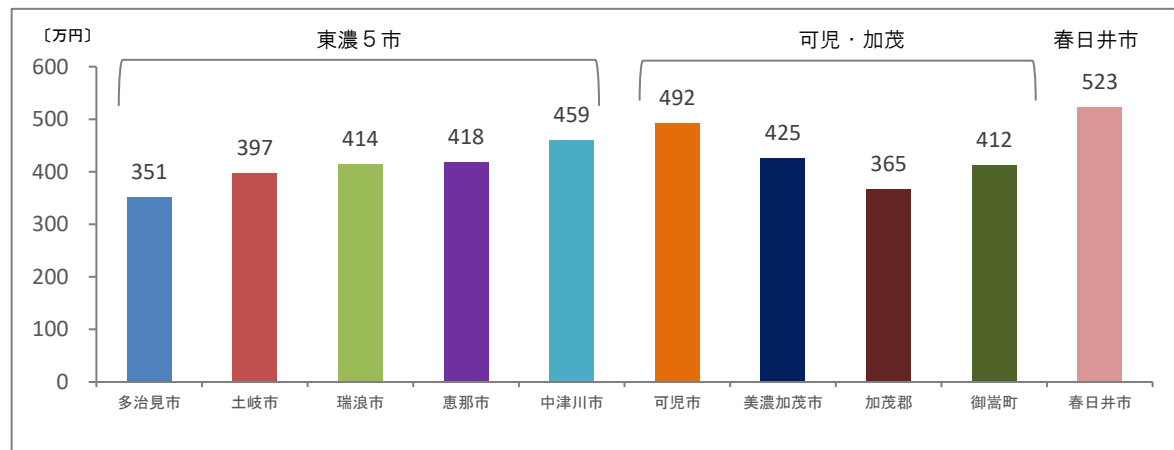
従業者規模が「30～299人」の事業所は、『東濃5市』（18.9%）、『可児・加茂』（28.0%）、『春日井市』（23.0%）となった。

■現金給与総額



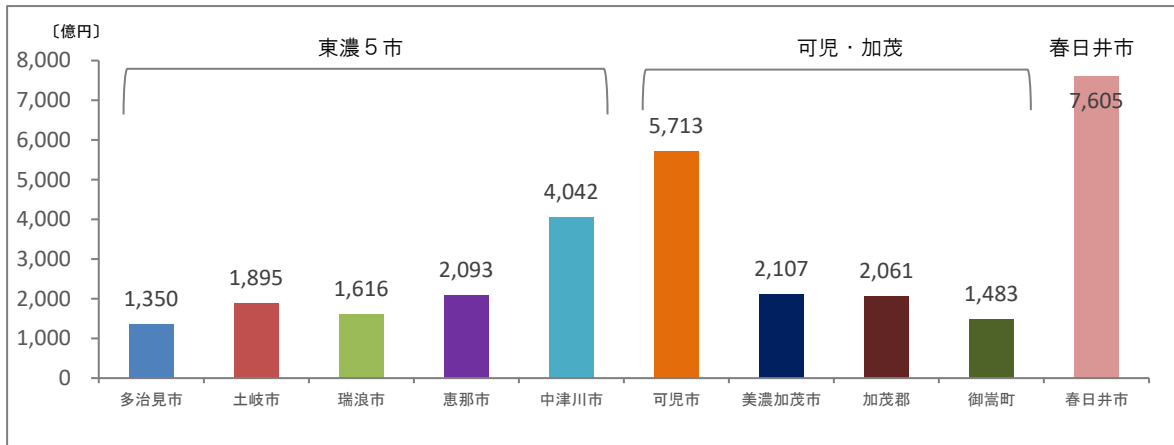
現金給与総額は、「春日井市」(1,193億円)が最も大きく、次いで「可児市」(691億円)、「中津川市」(573億円)となった。

■従業者一人当たりの現金給与総額



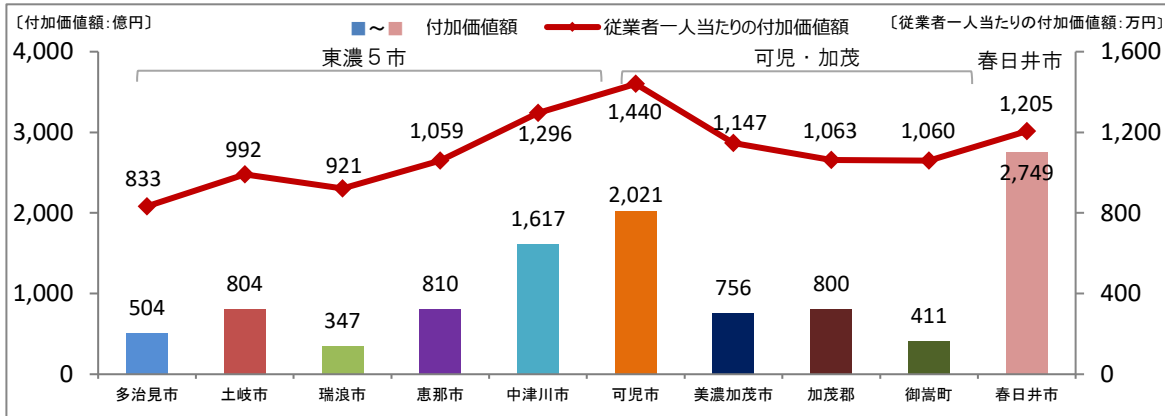
従業者一人当たりの現金給与総額は、「春日井市」(523万円)が最も高く、次いで「可児市」(492万円)、「中津川市」(459万円)となった。

■製造品出荷額等



製造品出荷額等は、「春日井市」(7,605億円)が最も大きく、次いで「可児市」(5,713億円)、「中津川市」(4,042億円)となった。

■付加価値額と従業者一人当たりの付加価値額

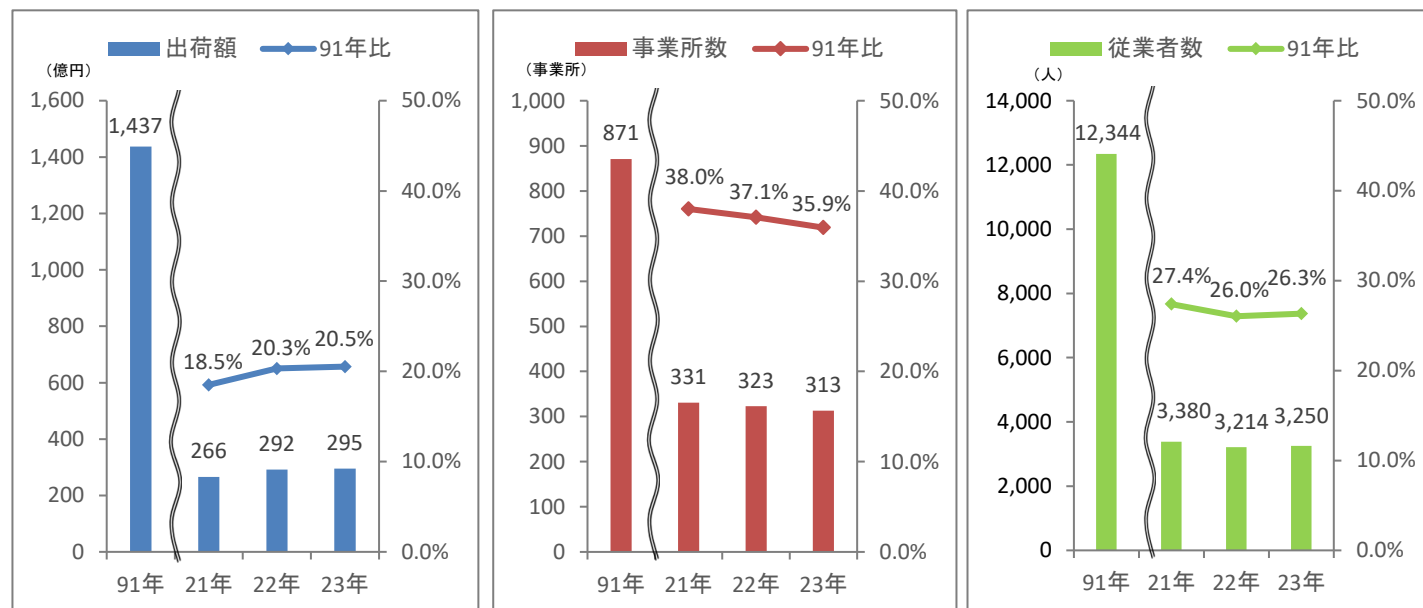


付加価値額は、「春日井市」(2,749億円)が最も大きく、次いで「可児市」(2,021億円)となった。従業者一人当たりの付加価値額は「可児市」(1,440万円)が最も大きかった。

■陶磁器業界（飲食器・タイル）の推移

※従業者5人以上の事業所対象。

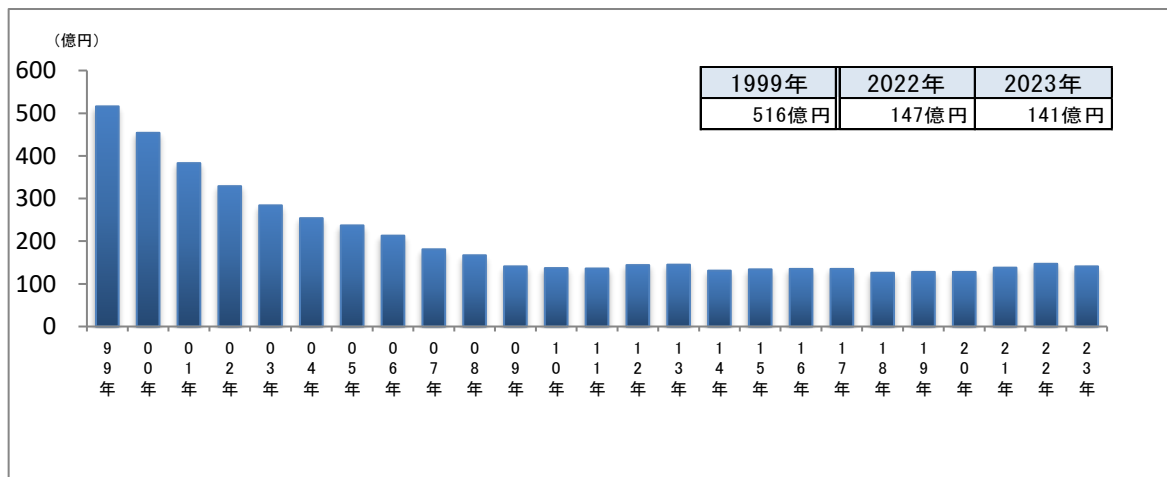
〔資料：岐阜県陶磁器工業協同組合連合会〕



陶磁器業界の推移では、2023年に出荷額が295億円、事業所数が313社、従業者数が3,250人となった。

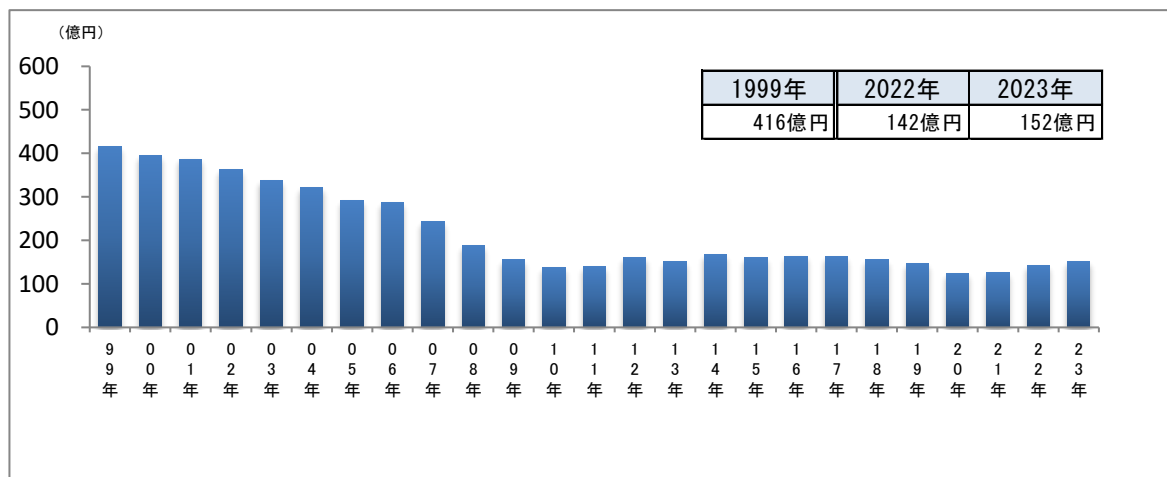
1991年比では、それぞれ20.5%、35.9%、26.3%となった。前年比では出荷額と従業者数は微増し、事業所数は減少した。

■美濃焼生産実績（飲食器）



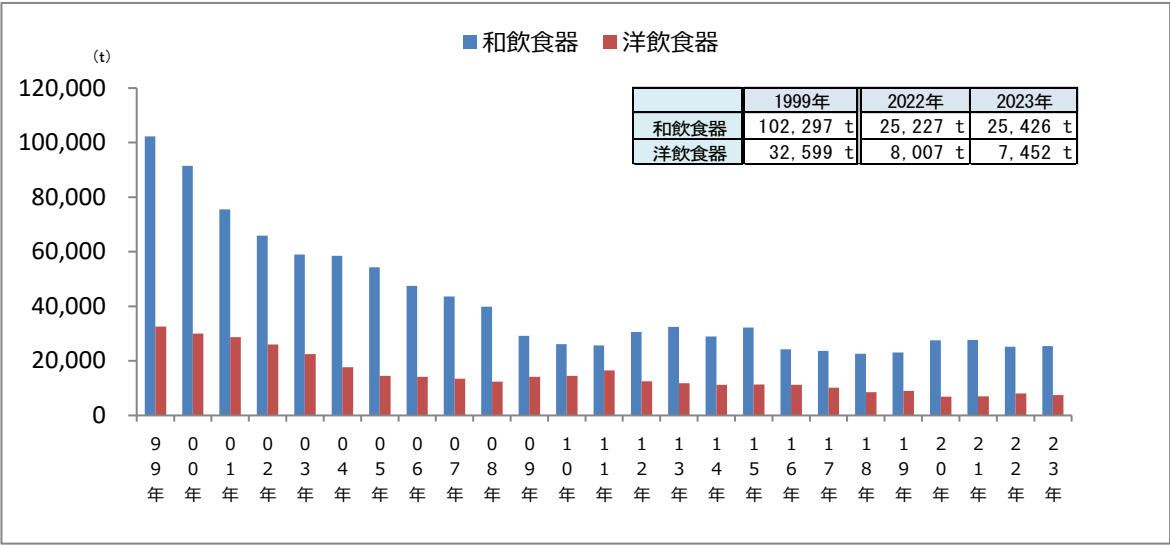
飲食器の生産実績は、1999年以降減少傾向にあり、2023年は141億円(前年比▲6億円)となった。

■美濃焼販売実績（タイル）



タイルの販売実績は、1999年以降減少傾向にあるが、2023年は152億円(前年比+10億円)となった。

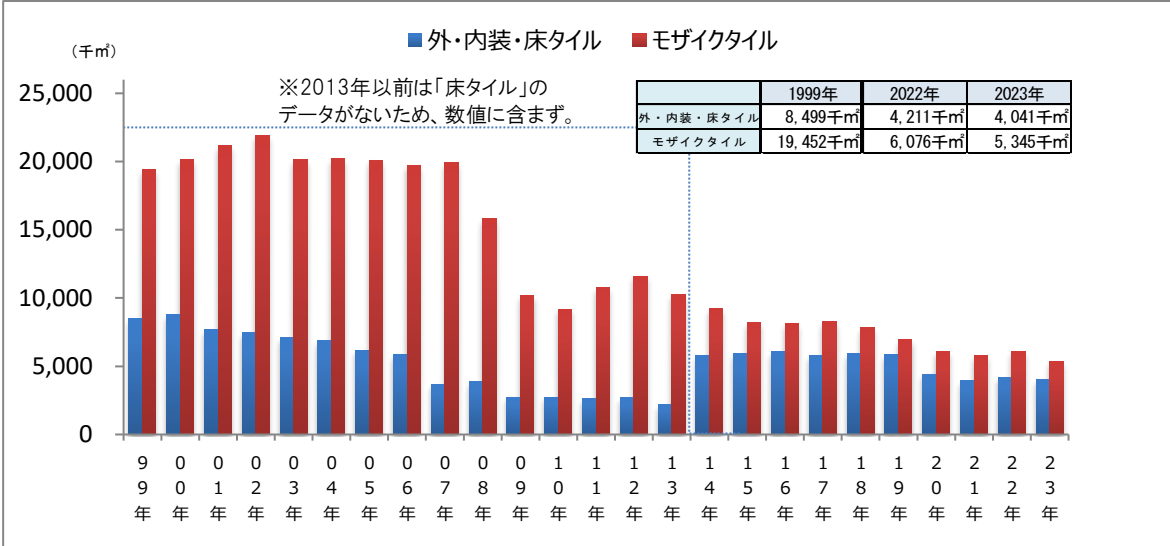
■美濃焼生産重量（飲食器）



2023年の和飲食器の生産重量は、25,426t（前年比+199t）となった。

2023年の洋飲食器の生産重量は、7,452t（前年比▲555t）となった。

■美濃焼生産数量（タイル）

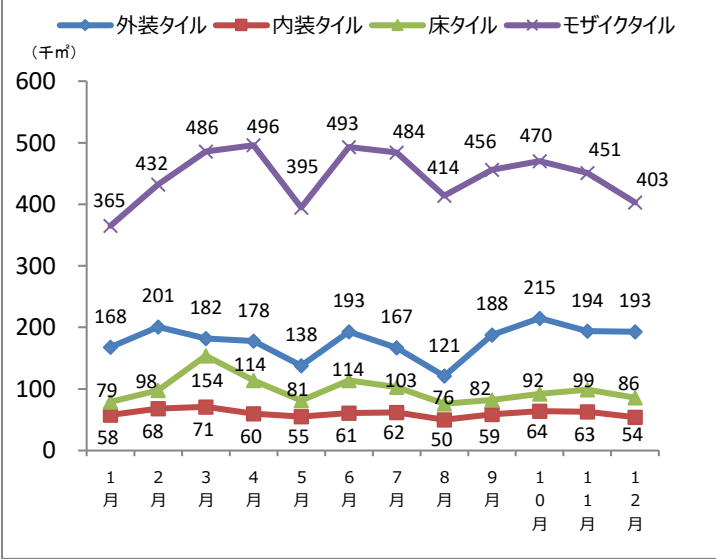
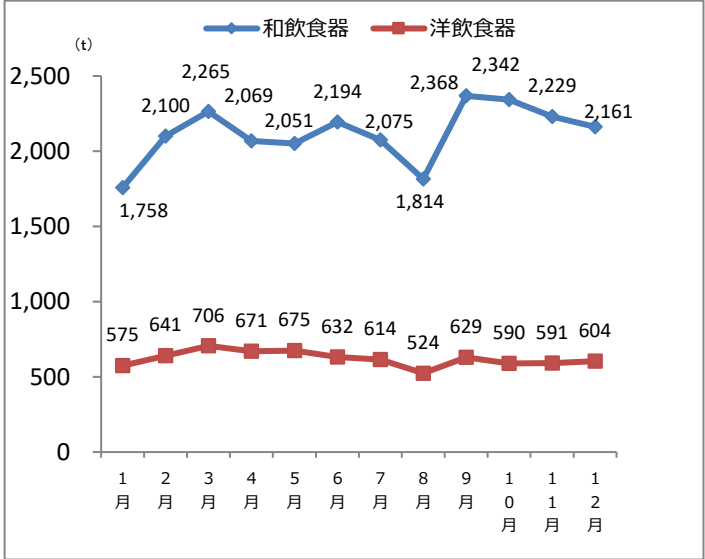


2023年の外・内装・床タイルの生産数量は、4,041千㎡（前年比▲170千㎡）となった。

2023年のモザイクタイルの生産数量は、5,345千㎡（前年比▲731千㎡）となった。

■美濃焼の直近における生産重量・生産数量（2023年）

〔資料：岐阜県〕



※「外装タイル」…構築物の外装に用いられ、表面積が50㎡を超えるもの。「内装タイル」…構築物の内装に用いられ、表面積が50㎡を超えるもの。

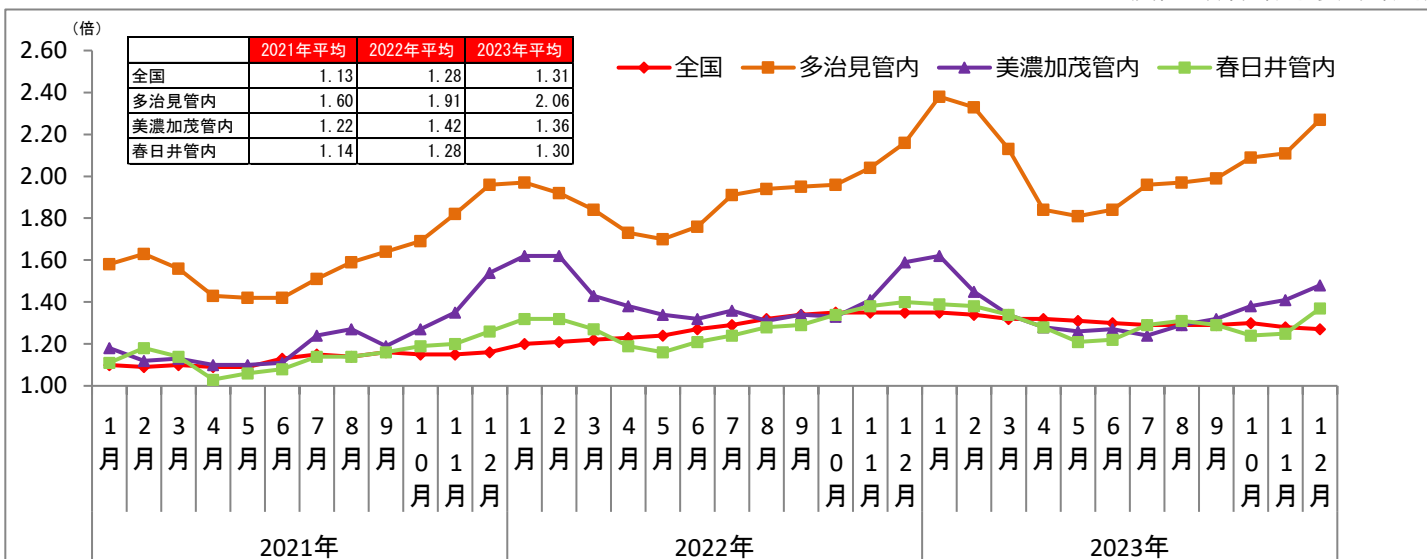
「床タイル」…屋内、屋外を問わず床に用いられ、表面積が50㎡を超えるもの。

「モザイクタイル」…裏打ち張りなど加工していない陶片で、外装・内装・床などに用いられ、表面積が50㎡以下のもの。

タイルについては出典が異なるため、各月の数値の合計は、年間の数値と必ずしも一致しない。

■有効求人倍率

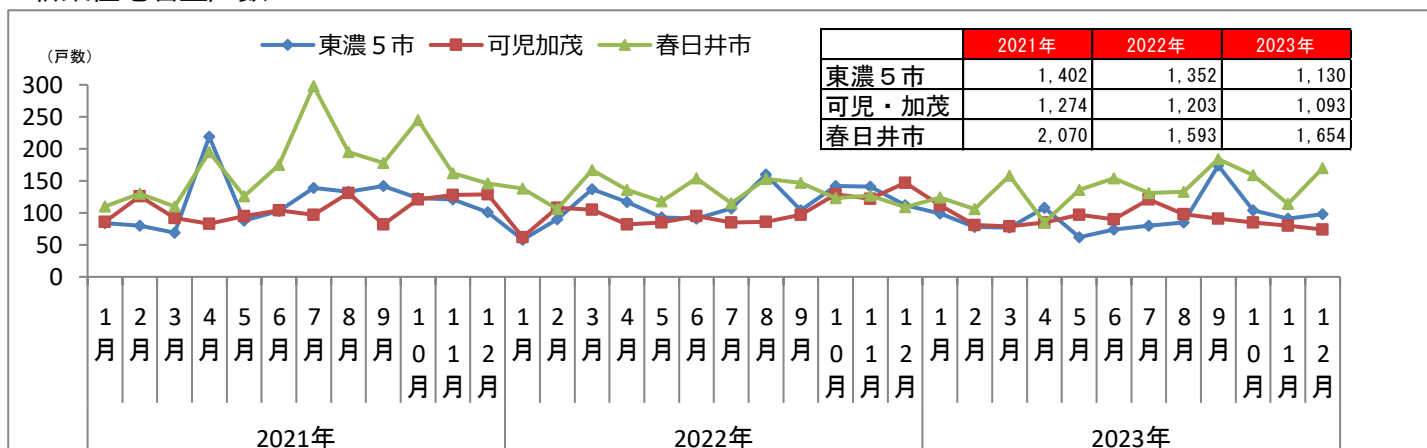
〔資料：岐阜労働局・愛知労働局〕



2023年の有効求人倍率の平均は、前年比で「美濃加茂管内」以外の地域において上昇した。なかでも「多治見管内」においては2倍を上回った。

■新築住宅着工戸数

〔資料：岐阜県・愛知県〕

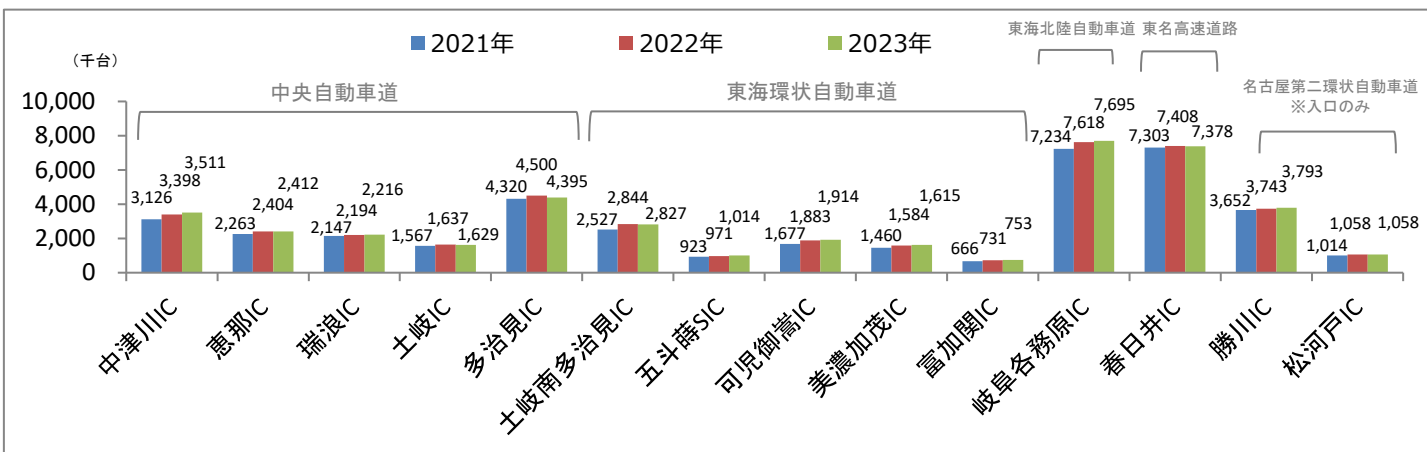


2023年の新築住宅着工戸数の合計は、前年比で春日井市以外の地域において減少した。

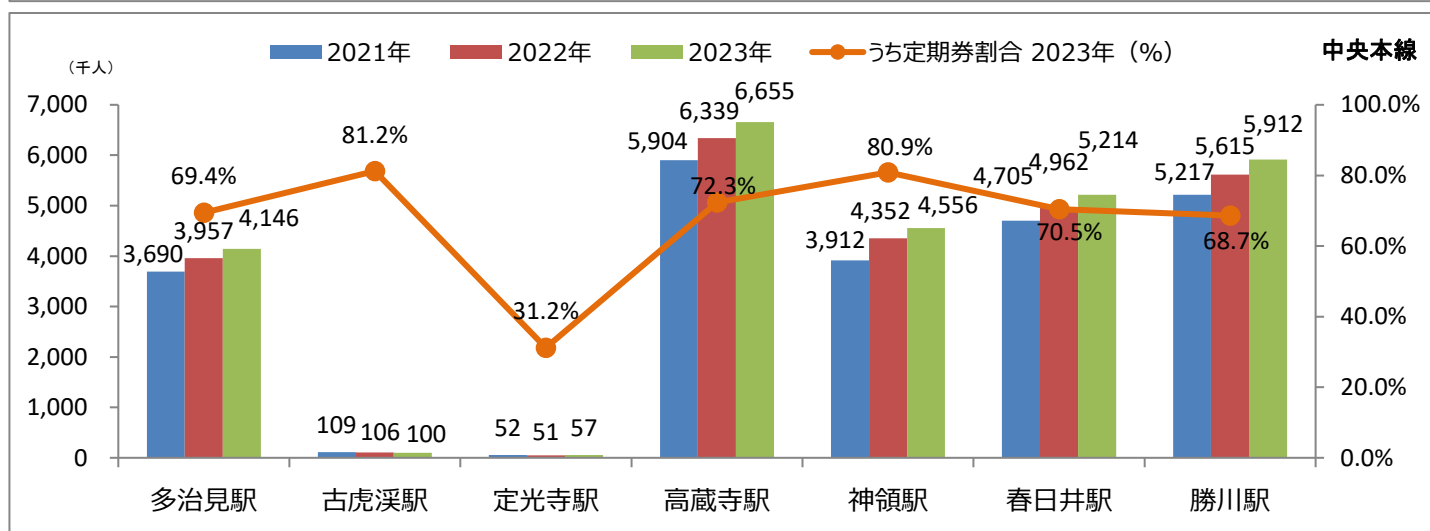
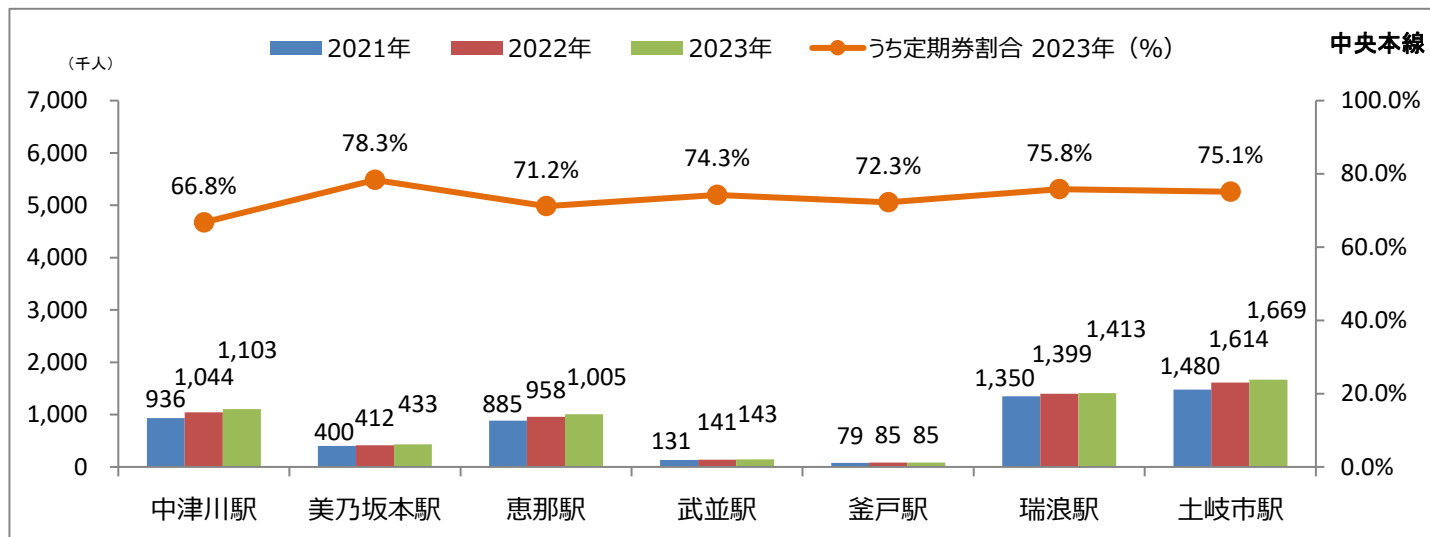
「東濃5市」と「可児・加茂」においては、2021年から減少が続いている。

■高速自動車道 I C 利用台数

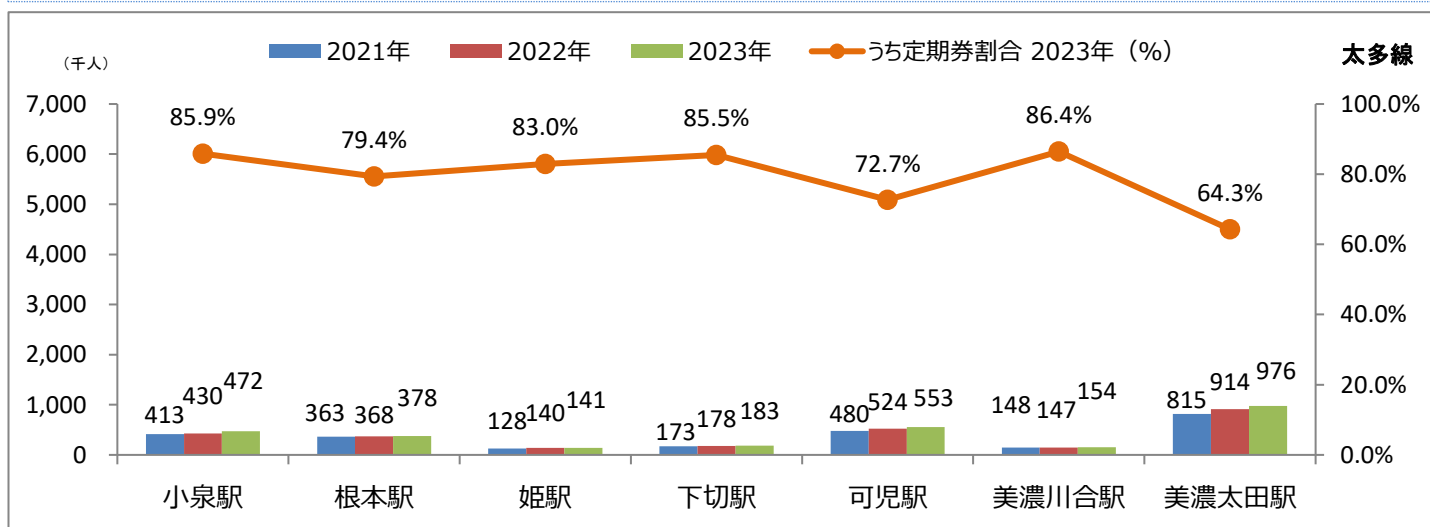
〔資料：中日本高速道路株式会社〕



高速自動車道 I C 利用台数は、「岐阜各務原 I C」(7,695千台) が最も多く、次いで「春日井 I C」(7,378千台)、「多治見 I C」(4,395千台) となった。



2023年のＪＲ東海（中央本線）駅乗車人員は、「高蔵寺駅」（6,655千人）が最も多く、次いで「勝川駅」（5,912千人）、「春日井駅」（5,214千人）となった。定期券使用の割合は「古虎溪駅」（81.2%）が最も高く、一方「定光寺駅」（31.2%）が最も低かった。



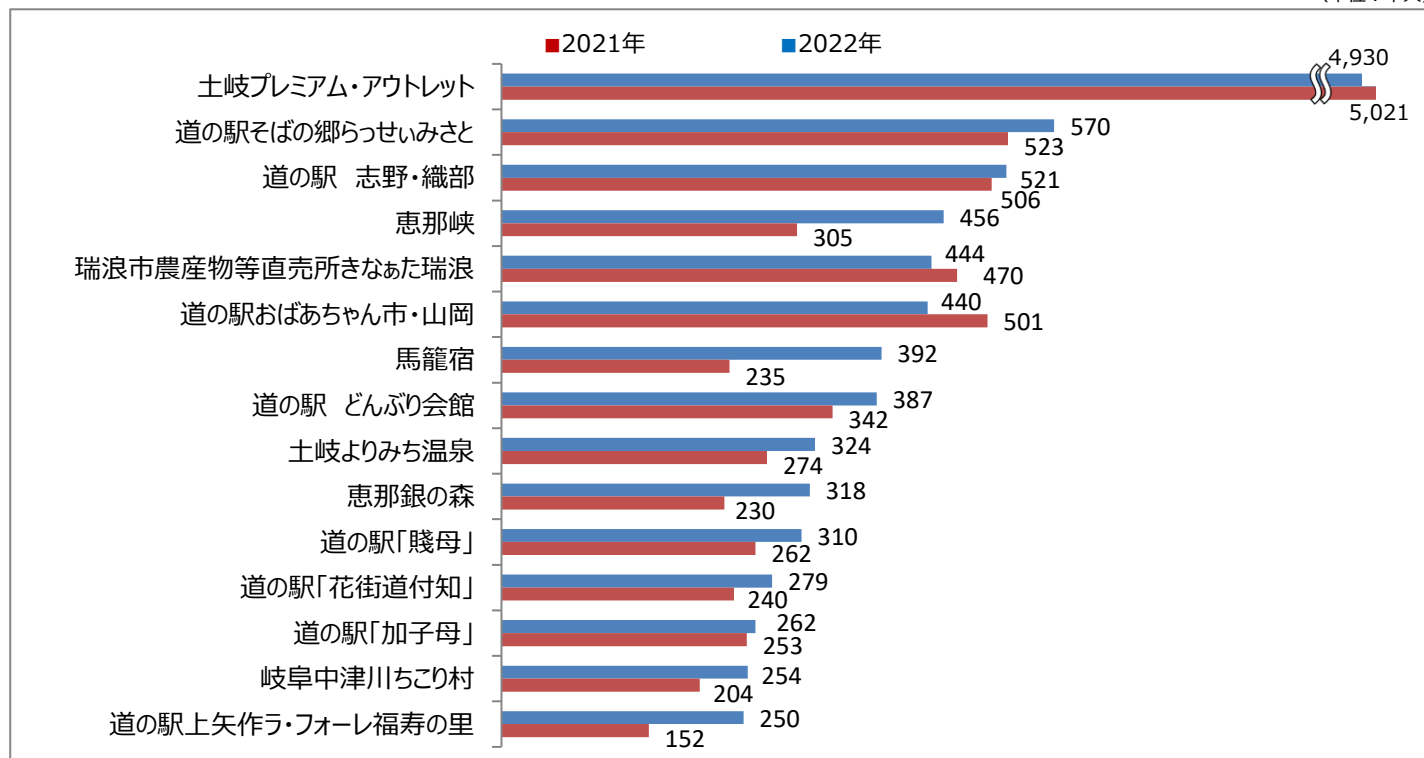
2023年のＪＲ東海（太多線）駅乗車人員は、「美濃太田駅」（976千人）が最も多く、次いで「可児駅」（553千人）、「小泉駅」（472千人）となった。定期券使用の割合は「美濃川合駅」（86.4%）が最も高く、一方「美濃太田駅」（64.3%）が最も低かった。

観光統計（2022年実績 観光入込客数トップ15）※2022年実績におけるトップ15を前年度と比較。

〔資料：岐阜県・愛知県〕

■東濃5市（観光入込客数14,617千人 前年比+1,184千人）

（単位：千人）

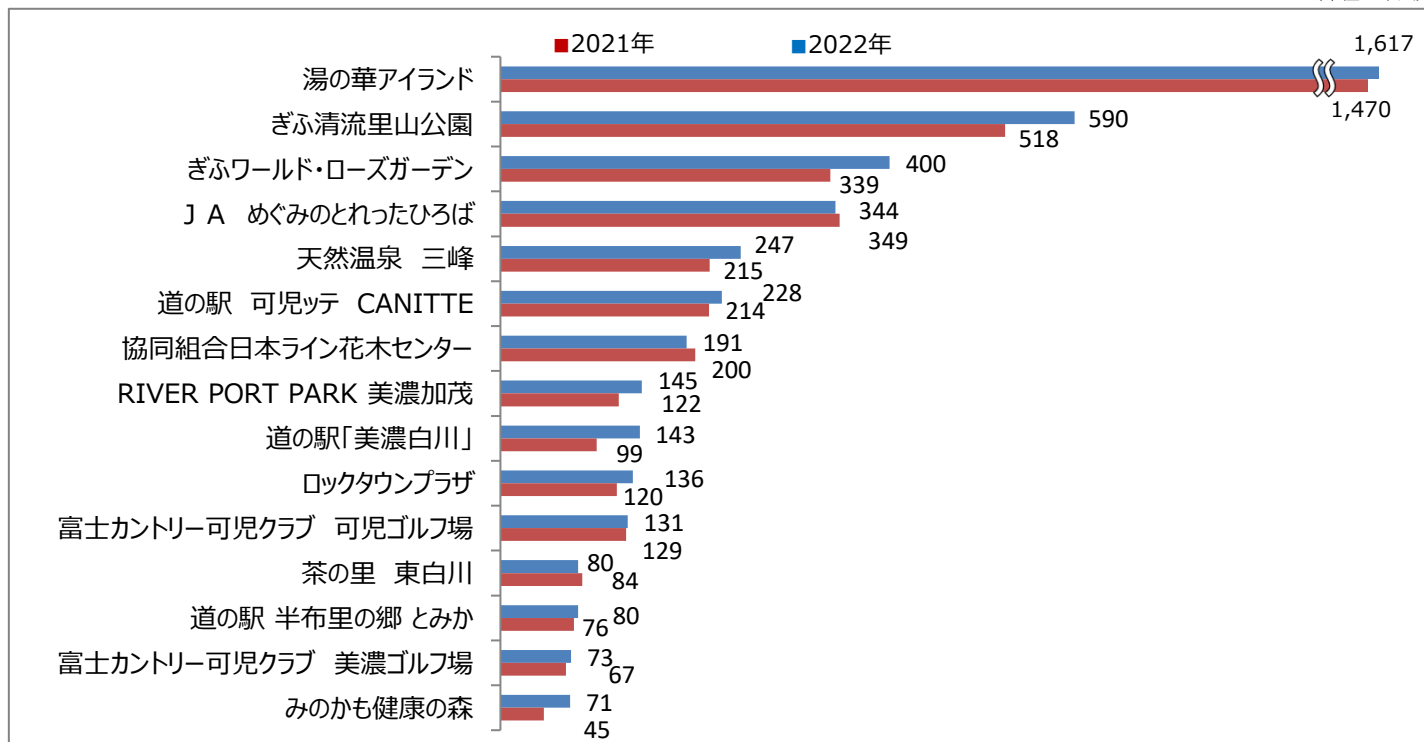


東濃5市における観光入込客数は、「土岐プレミアム・アウトレット（土岐市）」が4,930千人でトップとなった。

次いで、「道の駅そばの郷らっせいみさと（恵那市）」の570千人、「道の駅 志野・織部（土岐市）」の521千人となった。

■可児・加茂（観光入込客数5,822千人 前年比+516千人）

（単位：千人）



可児・加茂における観光入込客数は、「湯の華アイランド（可児市）」が1,617千人でトップとなった。

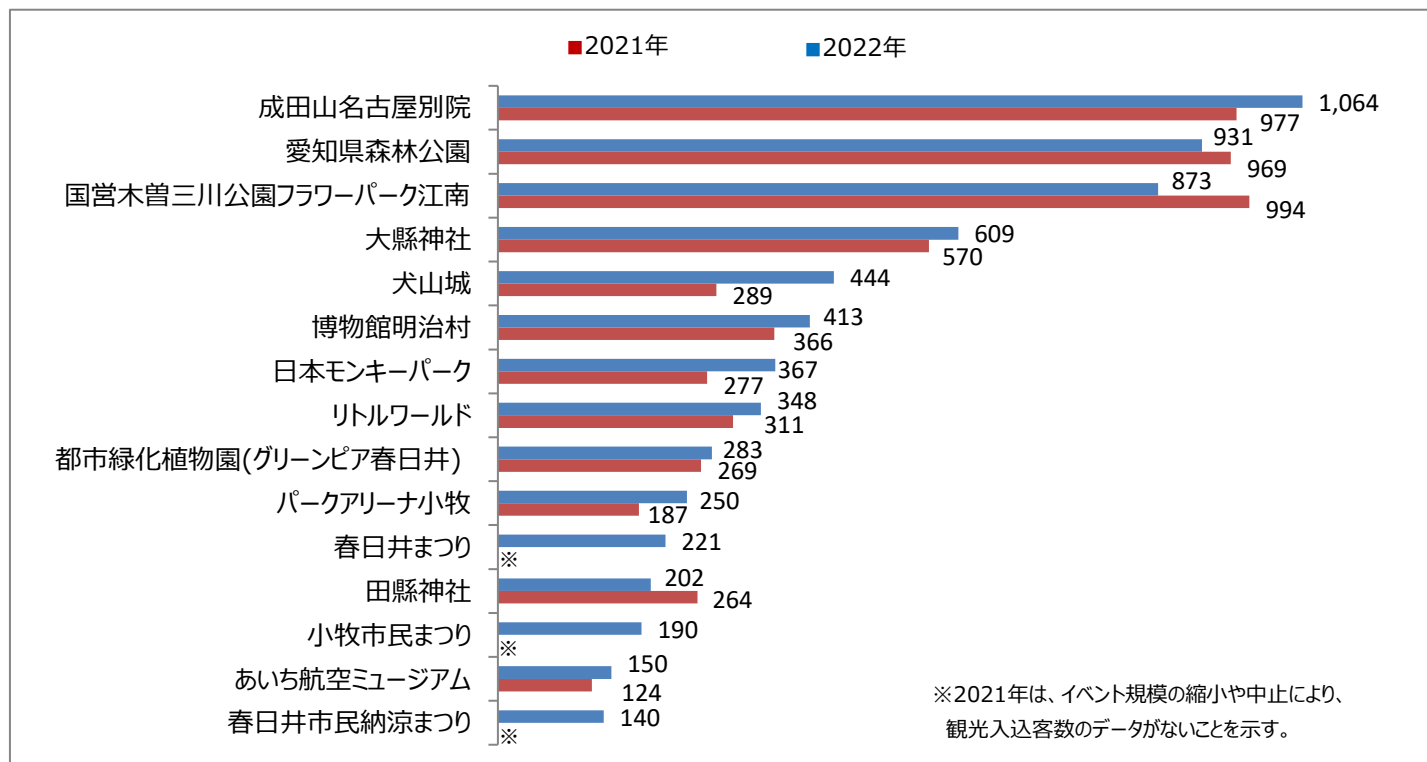
次いで、「ぎふ清流里山公園（美濃加茂市）」の590千人、「ぎふワールド・ローズガーデン（可児市）」の400千人となった。

■愛知県（観光入込客数：7,728千人 前年比+1,418千人）

対象エリア ※名古屋市除く

愛知県：春日井市、小牧市、犬山市、江南市、尾張旭市、西春日井郡豊山町

（単位：千人）



愛知県における観光入込客数は、「成田山名古屋別院（犬山市）」が1,064千人でトップとなった。

次いで、「愛知県森林公園（尾張旭市）」の931千人、「国営木曽三川公園フラワーパーク江南（江南市）」の873千人となった。

東濃信用金庫は

美濃焼文化の 発信をしています

とうしん美濃陶芸美術館

陶芸講座

星茶会

とうしん学びの丘 “エール”

とうしん

©Nami Adachi

地元と共にあり、共に栄える

